

過労死等防止・健康起因事故防止セミナーが開催されました

岡山県トラック協会主催、岡山産業保健総合支援センター、陸上貨物運送事業労働災害防止協会岡山県支部共催の「過労死等防止・健康起因事故防止セミナー」が、10月10日（水）に岡山県トラック総合研修会館において開催されました。

労働災害は長期的には減少傾向にありますが、トラック運送業における労働災害は、引き続き多く発生している実態にあります。また、事業用トラックによる交通事故も減少傾向にありますが、ドライバーの健康に起因する事故は増加傾向にあります。

さらには、先般公表された「過労死等防止対策白書」によると、脳・心臓疾患の労災補償状況は、業種別に見ると、請求件数、支給決定件数ともに「運輸業、郵便業」が最多であり、その中でも道路貨物運送業（業種別中分類）が最も多い状況であります。

このようなトラック運送業界の状況から、労働災害の防止対策ならびに健康起因事故防止対策への取り組みを強化するため、岡山県トラック協会の会員事業者向けのセミナーを開催しました。

セミナーでは、「過労死の実態」、「過労死等防止計画」、「ドライバーの健康管理」についての講演が行われ、このうち、岡山産業保健総合支援センターからは道明道弘産業保健相談員が「ドライバーの健康管理」を講演しました。

このセミナーには、岡山県下のトラック業界の経営者や運行管理者など81名が参加しました。



セミナーで講演する道明相相談員